

## 前期学校評価について

平成29年11月27日

## ～前期「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました～

学校評価アンケートや授業参観等でいただいたアンケートから、前期の学校評価の分析結果を報告させていただきます。

紙面では、保護者の学部別のアンケート結果を掲載します。教職員と保護者全体のアンケート結果は比較したグラフにし、児童生徒のアンケート結果はグラフにしてホームページに掲載させていただきます。

このアンケート項目は、学校教育目標と目指す児童生徒像に沿って作成しています。結果につきましては、全教職員に周知するとともに、10月5日の学校運営協議会において報告し、委員の皆様からご意見を頂戴しました。いただいたご意見を参考にして、全校で課題の改善に取り組んでまいります。

学習の様子や内容、成果につきましては、学年だよりや吳竹だより、学校ホームページ等でお知らせしてまいります。ご不明な点がありましたら、いつでも担任を通して学校までお問い合わせください。

なお、後期の「学校評価アンケート」は、1月上旬に実施する予定です。よろしくお願いいたします。

## \*回答率

	保護者	児童生徒	教職員
回答数	146	81	119
回答率	73.0%	40.5%	85.6%

## \*分析方法

- ・学校と家庭との連携をはかるために、ご家庭での取組についてお伺する項目も設定。
- ・アンケートの各項目について「重要度」と「実現度」を4段階で回答。  
(児童生徒は実現度のみ)
- ・アンケートの各項目の回答を割合(%)でまとめる。
- ・アンケートの結果と取組や授業参観のアンケート等をあわせて分析。

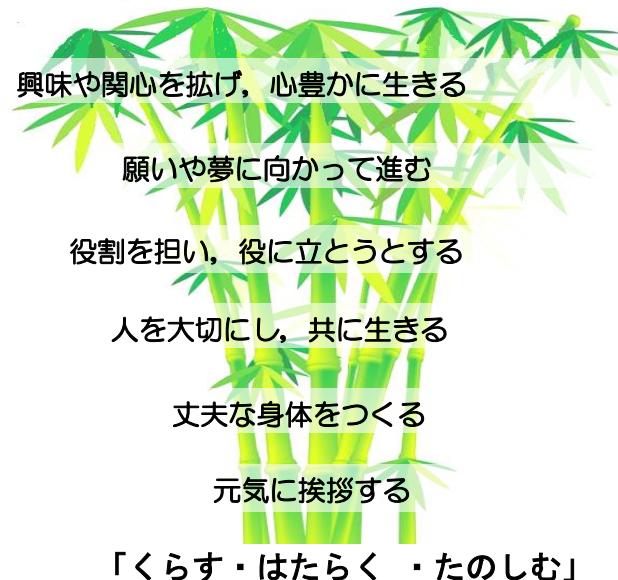
## \*アンケート結果【保護者】

- ・重要度は「重要である」と「やや重要である」、実現度は「よく出来ている」と「大体出来ている」の回答を合わせた割合(%)を学部別に表示。

## &lt;平成29年度学校教育目標&gt;

社会参加し、生き生きと活動したいという児童生徒の願いを実現するために、個々の可能性を最大限に伸ばす

## &lt;目指す児童生徒像&gt;



## \*アンケート結果【保護者（学部別）：%】

質問項目	重要度			実現度		
	小	中	高	小	中	高
◆元気に挨拶する						
・児童生徒は自分なりのしかたで挨拶をしている	97.3	100	100	78.1	88.6	84.3
・わたしは、子どもに「おはよう」等の挨拶をしている	100	100	98.5	100	97.1	94.2
・教職員は、保護者や来校者に挨拶をしている	100	100	98.7	100	91.4	98.3

質問項目	重要度			実現度		
	小	中	高	小	中	高
◆丈夫な身体をつくる						
・学校では、健康維持や体力づくりに関する取組が十分に行われている	100	97.2	98.4	100	94.2	99.1
・児童生徒は、規則正しい生活を送っている	100	97.2	100	91.8	77.2	90.9
・わたしは、子どもが健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む、体力づくり等）	100	97.3	100	83.5	60.0	81.0
◆人を大切にし 共に生きる						
・児童生徒は、友達を大切にしようとする気持ちを持って、学校生活を送っている	97.3	97.2	98.5	71.9	79.4	82.4
・交流及び共同学習で、児童生徒は意欲的に活動している（居住地校交流、桃山小・桃山中・府立桃山高・鳴滝総合等との交流及び共同学習等）	86.3	83.3	87.4	80.3	48.5	60.4
・児童生徒は、学習や行事を通して地域のいろいろな人と関わっている（地域の施設等での校外学習、実習等）	94.5	94.5	95.4	74.7	77.2	73.2
・わたしは、児童生徒が人と関わっていく上でのマナーやルールを身に付けられるようにしている	97.3	97.2	98.4	60.5	60.0	69.7
・学校では、ルールを守り、他人への気遣いをするなど、集団生活の基本に関する指導が行われている	97.2	94.4	98.5	83.1	82.9	89.3

質問項目	重要度			実現度		
	小	中	高	小	中	高
◆役割を担い 役に立とうとする						
・学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組む授業や行事をしている。	100	100	96.9	94.4	82.9	90.9
・わたしは、子どもの「できること」をみつけて褒めている	100	100	96.9	89.0	80.0	79.3
・学校は、児童生徒の年齢や適性に応じた進路学習を行ったり、関係機関との連携をしたりしている	97.3	100	98.4	80.3	74.3	85.9
・保護者と学校が連携して、児童生徒の進路について考えている	100	100	100	82.1	84.4	85.4
◆願いや夢に向かって進む						
・本人および保護者の願いが十分に、個別の包括支援プランに反映されている	100	100	96.8	100	87.5	89.8
・保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している	97.1	100	95.4	97.0	90.7	84.6
・児童生徒は、目標や意欲を持って活動している	97.1	100	95.4	81.2	78.1	79.3
◆興味や関心を拡げ 心豊かに生きる						
・学校は、児童生徒の興味関心を拡げ、個性を伸ばす授業をしている	100	100	100	94.0	84.4	78.6
・学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている	94.2	91.4	98.4	82.1	65.7	70.1
・児童生徒は、休日や放課後に、楽しく過ごしている	100	100	98.4	98.6	96.9	89.8
・児童生徒は、好きな活動や趣味を見つけて取り組んでいる	94.2	100	93.8	73.1	71.9	77.8
◆その他						
・学年だよりや学校だより、学校ホームページなどで学校の様子はよくわかる	97.2	97.2	90.7	91.3	93.8	96.6
・学校は、物品の整理・整頓や安全・事故予防に取り組んでいる	97.2	100	95.3	94.2	87.5	89.7

## \*分析結果

### ◆元気に挨拶する

「児童生徒は、自分なりのしかたで挨拶をしている」の実現度の項目では保護者全体で 86.0%の肯定的な回答（よく出来ている、大体出来ている：以下同じ）があり、教職員全体では 95.8%の肯定的な回答がありました。また、児童生徒対象のアンケートでは「自分なりのしかたで挨拶をしている」という項目で、児童生徒の 96%が肯定的な回答（そう思う、どちらといえばそう思う：以下同じ）をしています。さらに、「わたしは、子どもに「おはよう」などの挨拶をしている」の実現度の項目では、保護者全体で 96.5%，教職員では 100%の肯定的な回答がありました。児童生徒、保護者、教職員ともに挨拶することを大切にしていることが伺えます。

また、「児童生徒は、自分なりのしかたで挨拶をしている」の重要度の項目では保護者・教職員ともに全体で肯定的な回答（重要である、やや重要である：以下同じ）が 100%となっています。また、「教職員は、保護者や来校者に挨拶をしている」の項目では、実現度が保護者全体では 98.2%，教職員全体で肯定的な回答は 97.5%でした。このような実態からも、元気に挨拶をすることを大切にしながら、引き続き家庭と学校が連携して、子どもたち一人一人が自分なりの方法で挨拶ができる姿を目指していきたいと思います。

### ◆丈夫な身体をつくる

「わたしは、子どもが健康について意識できるように取り組んでいる（「しんどい」ことを伝える、薬を飲む、体力づくり等）」の重要度の項目では、保護者・教職員全体ともに肯定的な回答が 100%でした。それに対し、保護者全体の実現度の肯定的な回答は 82.5%，教職員全体の肯定的な回答は 83.9%でした。一方、児童生徒が「しんどくなった時に、先生や家の人に話している」の項目においては、肯定的な回答が 72%でした。少し低い数値となりましたが、保護者や教職員全体での実現度の肯定的な回答が高いということから、家庭や学校で日頃から取り組んでいることが分かります。これからも児童生徒が、自分の体調について伝えられる手段を身に付けられるよう、子どもたちの実態に応じて家庭と学校が連携をして進めていきたいと思います。

「夜更かしをしないで、規則正しい生活をしている」の項目では、75%の児童生徒が肯定的な解答をしています。また、「どちらかといえばそう思わない」という回答が 25%，「そう思わない」という回答は 0%でした。このことから児童生徒は、自分の生活を振り返り、「どちらかといえばよくない」という意識を抱いて

て生活をしていることも伺えます。引き続き児童生徒が自分自身で生活を見直し、改善していく力をつけたいと思います。

### ◆人を大切にし 共に生きる

「児童生徒は友達を大切にしようとする気持ちを持って、学校生活を送っている」の実現度の項目では、保護者全体の肯定的な回答が 83.9%で、教職員全体の肯定的な回答が 91.6%でした。児童生徒の「友達と仲良くしている」の項目で肯定的な回答は 95%でした。年齢や成長に伴ってさまざまな思いを抱くことは当然であると考えます。その中で、児童生徒が、友達を大切にしながら学校生活を送っていることがわかる回答であるといえます。残りの 5%は「どちらかといえばそう思わない」という回答でしたが、このように回答できたことは、自分を振り返り、よい行動が分かってのことだと言えます。これからも、人を大切にする取り組みを進めていきたいと思います。

「わたしは、児童生徒が人と関わっていく上でのマナーやルールを身に付けられるようにしている」の実現度の項目では、小学部の保護者全体では、60.5%，中学部の保護者全体では、60%，高等部の保護者全体では、69.7%でした。児童生徒のアンケートでは「学校や社会のルールを守っている」の項目で肯定的な回答は 96%でした。保護者の回答が少し低くなっているのは、家庭だけで取り組むことが難しいということが言えます。学校では、段階を踏んで取り組んでいます。小学部では、学級や学年という小さな集団から人とのかかわりやルールマナーを学んでいきます。中学部では、小学部で培った力を家庭・学校・地域での生活で伸ばしていきます。高等部では社会参加しながら実用的な力をつけていきます。このような取組から、これからも、児童生徒が社会で生きる生活者として、生き生きと人とかかわりながら生活していくよう、家庭と連携を図りながら、さまざまな経験や学習を積重ねていきたいと思います。

### ◆役割を担い 役に立とうとする

「学校は、児童生徒が生き生きと主体的に取り組む授業や行事をしている」の項目の実現度の肯定的な回答は、保護者全体では 93%，教職員全体では 87.4%でした。教員は、子どもたちが生き生きと活動できる授業になるよう、研修や研究を積み重ねています。これからも、児童生徒が、学校が「楽しい」、授業が「おもしろい」と感じられるよう、創意工夫をして取り組んでいきたいと思います。児童生徒の項目では、「先生は自分が努力したことや頑張ったことをほめてくれる」の回答が 100%でした。これからも、児童生徒の一人一人の姿を受け止め、

褒めて伸ばしていきたいと考えます。

「学校は、児童生徒の年齢や適性に応じた進路学習を行ったり、関係機関との連携をしたりしている」の項目の保護者の実現度の肯定的な回答は、小学部80.3%，中学部74.3%，高等部85.9%でした。「保護者と学校が連携して、児童生徒の進路について考えている」の項目の保護者の実現度の肯定的な回答は、小学部82.1%，中学部84.4%，高等部85.4%でした。高等部になると実習も始まり、進路説明会や進路相談等も実施され、卒業後の進路にむけて保護者と教職員で話す機会も多くなることからこうした結果になったのだと思われます。小学部の時から係活動や当番活動などで役割を担い、社会的・職業的自立に向けた能力や態度を育んでいます。また、全校対象に進路だよりを配布し情報を発信しています。引き続き、保護者と教職員とが連携して、個に応じて、児童生徒の進路について考えていくようにしていきたいと思います。

#### ◆願いや夢に向かって進む

「本人および保護者の願いが十分に、個別の包括支援プランに反映されている」の項目の実現度の肯定的な回答は、保護者全体では84%，教職員全体では86.1%でした。また、「保護者と学校は、児童生徒の願いや目指す姿を共有している」の項目の実現度の肯定的な回答が、保護者全体では85.7%で、教職員全体では、89.6%でした。この結果から、保護者の願いや思い、児童生徒の願いや目指す姿等を保護者と共有できるよう、今後もより一層、連携の場を大切にしていきたいと考えます。

「児童生徒は、目標や意欲を持って活動している」の項目の保護者の実現度の肯定的な回答は、小学部81.2%，中学部78.1%，高等部79.3%でした。児童生徒の「学校の授業の内容がわかつて活動している」の項目の肯定的な回答は100%，「学校で学習したことは自分の役に立っている」の項目の肯定的な回答は96%でした。今年度も「一人一人が主体的に活動する授業づくり」をテーマに研究に取り組んでいます。児童生徒の主体的な姿を引き出すために、「できる状況づくりと支援」を再検討しながら進めています。今後も、一人一人のニーズに応じた授業づくりができるよう、児童生徒にとって「何のために」「何をするのか」がわかりやすい授業を実践していくとともに、取組内容や児童生徒の様子について、保護者に伝えていきたいと思います。

#### ◆興味や関心を拓げ 心豊かに生きる

「学校は、児童生徒の興味関心を拓げ、個性を伸ばす授業をしている」の項目

では、保護者全体の実現度の肯定的な回答が76.8%，教職員全体の肯定的な回答が、87%でした。今年度の研究と連動しながら、子どもたちにとってより良い授業づくりになるよう、これからも励んでいきたいと思います。

「放課後や休みの日に楽しく過ごしている」の項目では、児童生徒の肯定的な回答は100%でした。保護者全体の実現度の肯定的な回答は、「児童生徒は、好きな活動や趣味を見つけて取り組んでいる」で70.9%，「児童生徒は、休日や放課後に、楽しく過ごしている」では94.6%，「学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている」は67.9%でした。「学校は、児童生徒の余暇活動につながる取組をしている」の項目では教職員全体の実現度の肯定的な回答が86.1%でした。本校では主に金曜日の午後に余暇活動につながる授業をしています。表現活動の制作や美術、音楽、また、室内やグランド等でのスポーツなどがあります。その他にも毎2限の縦割りの授業等でも、和太鼓や造形活動、エクササイズなども行っています。さまざまな学習の場で、児童生徒の好きな活動や興味を広げていきたいと考えます。

#### ◆その他

「学年だよりや学校だより、学校ホームページなどで学校の様子はよくわかる」の項目の保護者全体の実現度の肯定的な回答は92.9%で、昨年度より少し実現度が上がっています。保護者からは、「日々の学習の様子を知ることができて、学校の取組がよくわかる」というご意見もいただいています。学校ホームページや学校だより（呉竹だより）では、子どもたちの様子をお伝えするだけでなく、学校の取組や行事予定など、さまざまな情報をお伝えしています。また、学部や学年からのおたよりは、実態に応じて配布しています。これからも、さまざまな取組や様子を発信してきたいと思います。

#### ◆学校運営協議会の委員の方々より

- ・本人や保護者の願いを個別の包括支援プランに反映されることには、個人差があるのではないか。保護者と指導者が目標を共有するという意味でも、子どもの目指す姿や目標（長期・短期・卒業後等）を整理して話していくのが良いのではないか。
- ・これからも、小学部・中学部・高等部の「縦のつながり」と学年や学部内での「横のつながり」を密にして取組をすすめていくことが大切である。